

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
◎ 建築物の環境品質・性能						
Q-1 室内環境						
1 音環境						
1.1 騒音						
1 1 階騒音レベル		3.0	0.30			3.1
2 設備騒音対策						3.3
1.2 遮音						3.0
1 開口部遮音性能		3.0	0.40			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.40			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-			
1.3 吸音						
1 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-			
2 2.1 室温制御		3.0	0.20			2.8
1 室温設定		2.8	0.35			
2 換気制御・湿度制御性		3.3	0.50			
3 外皮性能		3.0	0.30			
4 ソーン別制御性		2.0	0.20			
5 遮音・遮光制御		4.0	0.50			
6 湿度制御						
7 遮断外空調						
8 監視システム						
2.2 湿度制御		3.0	0.20			
2.3 空調方式		2.0	0.30			
3 3.1 光・視環境		3.3	0.25			3.3
1 屋光利用		4.2	0.30			
1 屋光率		5.0	0.60			
2 方位別開口						
3 屋光利用設備		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30			
1 照度管理のグレア						
2 屋光制御		3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15			
1 照度		3.0	1.00			
2 照度管理		3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25			
4 4.1 空気質環境		4.3	0.25			4.3
1 発生源対策		5.0	0.50			
1 化学汚染物質		5.0	1.00			
2 アース対策						
3 グレア対策						
4 レンズガラス対策						
4.2 換気		3.3	0.30			
1 換気量		5.0	0.33			
2 自然換気性能		1.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		4.0	0.33			
4 給気計画						
4.3 運用管理		4.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		5.0	0.50			
Q-2 サービス性能						3.2
1 機能性		3.1	0.40			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		3.3	0.40			
1 広さ感・景観		4.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33			
3 内装計画		3.0	0.33			
2 2.1 耐久性・信頼性		3.0	0.31			3.0
1 耐震・免震		3.0	0.48			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29			
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12			
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29			
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29			
2.3 維持・更新						
1 屋上・屋根・外壁仕上げ材の更新						
2 配管・配線材の更新						
3 主要設備機器の更新						
2.4 信頼性		3.2	0.19			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		4.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		3.0	0.20			
事務室の平均天井高さは2.8m、南北に窓あり→添付資料						
全面的にF☆☆☆の材料を採用→添付資料						
全体としてビル管法の必要換気量の1.5倍程度を確保						
外気の取り入れ口は周囲に配感し排気口との十分な離隔を確保						
建物内は全面禁煙						
節水型器具を採用し、系統を可能な限り分けた計画						

